

第295回教育研究評議会議事要録(案)

1. 日時 平成30年1月16日(火) 13:30~15:35
2. 場所 事務局棟 第2会議室
3. 出席者 中井学長、中田理事・副学長、三浦理事・副学長、小沢理事・副学長
若井理事・事務局長、真田副学長、千葉副学長
朝賀人間発達文化学類長、谷評議員、中村評議員
鈴木行政政策学類長、田村評議員、垣見評議員
佐野経済経営学類長、伊藤評議員、吉川評議員
二見共生システム理工学類長、佐藤評議員、山口評議員
初澤うつくしまふくしま未来支援センター長、
難波環境放射能研究所長
【オブザーバー】生源寺農学系教育研究組織設置準備室長、

4. 欠席者 なし

5. 議事

【確認事項】

第294回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

【審議事項】

(1) 既存組織の見直し等について

中田理事・副学長から、資料1に基づき、食農学類(仮称)設置申請に関わり、既存学類の学生定員を確定する必要があるため、関連事項の検討状況を報告するとの発言があり、既存組織の見直しの状況、食農学類(仮称)設置申請書類に記載される既存学類の学生定員、大学院共生システム理工学研究科環境放射能学専攻設置計画概要、人文社会学群夜間主コース再編計画(案)、見直しを踏まえた学生抛出数の再設定(案)等について提案があった。

質疑応答の中で、再編される夜間主コースの学位について質問が出され、中田理事・副学長から、検討内容について説明があった。

審議の結果、教員控室に資料掲示の上、各学類教員会議へ意見聴取し、第296回教育研究評議会(2月6日開催予定)にて各学類から戻り報告をすることとした。

【報告事項】

(1) 食農学類(仮称)新規採用候補者の選考結果について

中田理事・副学長から、資料2に基づき、農学系教育研究組織設置準備室運営委員会において、食農学類（仮称）各専門領域の審査委員会の審査結果に基づき、設置審査に関わる専任教員38名のうち32名を新規採用候補者に決定したこと及び教員人件費の財源（見込み）等について説明があった。

引き続き、生源寺農学系教育研究組織設置準備室長から、各専門領域における審査結果の概要、特徴等について説明があった。

各学類教員会議へ、口頭にて報告することとし、資料については、各学類支援室において、事務職員立ち会いのもと閲覧可能とすることとした。

（2）教員の特例雇用について

中田理事・副学長から、資料3に基づき、食農学類（仮称）新規採用候補者のうち、特に必要であると学長が認めた者について、当該学類の完成年度まで雇用年齢の特例措置を行うことについて説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

（3）役員給与規則及び役員退職手当規則の一部改正について

中田理事・副学長から、資料4に基づき、国家公務員給与法等改正に準拠し、第447回役員会（1月15日開催）において承認された改正方針に基づく役員給与規則及び役員退職手当規則の一部改正の内容について説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

（4）就業規則の一部改正について

中田理事・副学長から、資料5に基づき、国家公務員給与法等改正に準拠し、第447回役員会（1月15日開催）において承認された改正方針に基づく給与関係規則及び退職手当規則等一部改正、労働契約法の特例に関する対象職員追加に伴う契約職員就業規則及びパートタイム職員就業規則の一部改正、教員の採用・昇任時における審議機関の追加に伴う職員任免規程の一部改正の内容について説明があった。

質疑応答の中で、就業規則の一部改正に伴う労使関係上の手続きについて質問が出され、中井学長から、今後の手続きの流れについて説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

（5）「福島大学男女共同参画宣言」改正について

中田理事・副学長から、資料6に基づき、男女共同参画推進専門委員会において見直しの検討を行い、パブリックコメントを踏まえて改正した「福島大学男女共同参画宣言」及び「福島大学男女共同参画行動計画」の内容について説明があっ

た。

引き続き、中井学長から、制定日については、第446回役員会において審議承認された日付（平成30年1月9日）とする旨、発言があった。

質疑応答の中で、行動計画の内容について意見が出され、中田理事・副学長から、行動計画のさらなる具体化について段階的に検討し、対応していきたい旨、発言があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

（6）「福島大学理工学群共生システム理工学類の研究活動における秘密情報の管理に関する規程」の制定について

小沢理事・副学長から、資料7に基づき、産学連携活動が活発化する中、共同研究等を通じて企業の秘密情報を取り扱う機会が増大しており、大学における適切な秘密情報管理への要請が年々高まっているため、先行的に共生システム理工学類において秘密情報の取り扱いに関する規程を制定した旨、発言があった。引き続き、横島産学官連携教員から、制定の背景、規程のポイント等について説明があり、佐藤評議員から、秘密情報の漏洩は、大学・教員の管理責任を問われることとなるため、共生システム理工学類における効果的な周知方法について現在検討中である旨、発言があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

（7）平成29年度業務達成基準適用事業について

若井理事・事務局長から、資料8に基づき、総額8,000万円の金谷川キャンパス等環境整備事業を複数年にわたって展開すること、事業として3つの柱を掲げ、学生生活環境整備としてアクセシビリティ支援室の移転等、教育研究組織の設置に伴う関連経費として食農学類（仮称）設置に向けたうつくしまふくしま未来支援センター（FURE）棟の改修及び大学院共生システム理工学研究科環境放射能学専攻設置に向けた設備整備等、安全管理関連経費として地下重油タンク流出事故防止対策、附属中学校焼却炉におけるアスベスト対策、ボイラー中央監視制御装置等の修理、AED更新等に充てること等の説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

（8）平成30年度予算（案）の伝達等について

若井理事・事務局長から、資料9に基づき、来年度運営費交付金の伝達額概要について、文科省全体と併せ本学分の概要報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(9) その他

・第 2 9 7 回教育研究評議会 (2 月 2 0 日開催) について

中井学長から、現段階において、2月20日に視察の対応が予定されており、場合によっては開催日時等の変更が生じる可能性がある旨、アナウンスがあった。